

## 編集後記

今回の宇都宮まちづくり論集( )は「サステナブル(持続可能)なまちづくり」をテーマに設定し、持続可能なまちづくりを進めていく上でかかすことのできない「環境」、「経済」、「社会」の3つの側面について、さまざまな分野でご活躍されている方々にご寄稿いただきました。

「環境」の側面については、世界規模の環境問題から執筆者(団体)の環境保全に向けた取り組みまで幅広い視点からご紹介いただきました。

「経済」の側面については、過去の事例や他都市の取り組み等から、今後の宇都宮の発展に必要なご意見やご提案をいただきました。

「社会」の側面については、各分野における現状や課題、それぞれの活動等から、社会安定のために行政や事業者、市民が取り組むべきことについて論じていただきました。

また、本論集は、現在宇都宮にお住まいになっている方から見た「市民の視点」、宇都宮以外の場所にお住まいになっている方から見た「外部の視点」と2つの視点からも論じられています。

まず「市民の視点」からは、具体的な提案やご自身の取り組みについてご紹介いただく中で、「大好きな宇都宮をもっともっと活性化させたい」という熱い思いを感じると同時に、宇都宮の素晴らしさをあらためて認識することができました。

一方、「外部の視点」からは客観的なご意見やご指摘をいただき、宇都宮の可能性や課題、進むべき方向性等についての新たな発見がありました。

宇都宮市では、平成20年3月、これからのまちづくりの指針として、将来のうつのみや像(都市像)を「くらしいきいき まちキラキラ つながる人 夢のみや うつのみや」とする「第5次宇都宮市総合計画」を策定し、「環境保全」、「経済発展」、「社会安定」をはじめとするさまざまな分野の施策・事業を実施しております。今後は、本論集でいただいた貴重なご意見・ご提案等をこれらの施策・事業に反映し、サステナブル(持続可能)なまちづくりの推進に努めてまいりたいと思います。

最後になりましたが、ご執筆いただいた皆さまには、ご多忙のところご寄稿いただきましたこと、また編集に際してご協力を賜りましたことに、心よりお礼申し上げます。

市政研究センター 研究員 小林 俊輔